

ものづくり企業にとって役に立つ、公的支援機関やサービスを紹介。
必要な情報収集や企業間のネットワークづくりに活用ください。

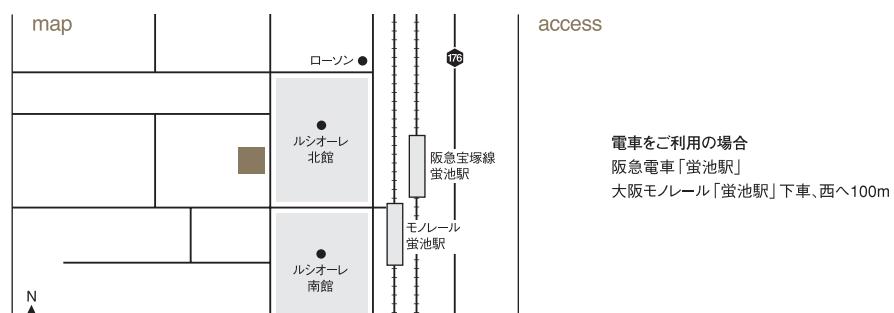
05

とよなか起業・チャレンジセンター

3タイプの支援で、豊中市内の中小企業を強力サポート

豊中市と豊中商工会議所で構成される運営協議会によって設置された『とよなか起業・チャレンジセンター』は、本年6月1日にとよなかインキュベーションセンターから名称変更・機能拡充した施設だ。これまでの豊中市内の事業者に対する支援拠点機能を拡充し、業種や業歴にとらわれることなく市内の中小企業すべてが対象となった。支援内容は「知識を学ぶセミナー開催」「市内の企業訪問」「交流を図る場の提供」がメイン。今年度は年間100社以上の中小事業者を訪問し、ヒアリングや支援を行う予定だ。事業マネージャーの与那嶺学氏は「施設ではものづくり、IT、サイエンスなど、切り口の異なるセミナーやランチ会などを実施し、多様な人々が集う場となることを目指します。業種や職種を越えた交流が事業者間で発生する中で、事業のモチベーションとなる新しい刺激を受けてもらわねば」と語る。豊中市内の中小事業者にとって、強力なサポーターとなるだろう。

(左上)施設内にあるホールでは、様々なセミナーやイベントが開催される。写真は「ワールドカフェ」開催時の様子。
(右上)飲み物や軽食を楽しみながら科学を語るという試み『とよなかサイエンスBAR』のロゴマーク。
(下)毎週水曜日の昼には、施設2階のロビーでランチを食べながら事業者間の交流が図れる『ランチ会』を実施。



06

大阪織維産地活性化ネットワーク協議会

大阪の織維産業が産地活性化を目指して一致団結!

大阪府内の12地域経済団体が連携して結成された『大阪織維産地活性化ネットワーク協議会』。この協議会は、大阪の織維産業が備えている高い技術や豊富なノウハウなど、ものづくりの力を産地自らアピールし、大阪の織維産業が再び全盛期の輝きを取り戻すことを目指す。協議会では「イメージアップ・情報発信事業」「サプライチェーン維持・活性化事業」「人材育成事業」という3つを取り組みの柱に据える。11月20日・21日には、イメージアップ・情報発信事業の第一弾として、東京・青山で展示会を開催する。この展示会は従来型の単なる商品展示ではなく、大阪産地の特長やきめ細かく要望に応えるコンシェルジュ機能をアピールするスタイルとなる。協議会の実行委員長・臼谷旗世彦氏は「グローバル化が進む中で、業種や製品分野の壁を越え、地域産業として一致団結しなければなりません。この協議会での取り組みがラストチャンスと考えて取り組んでいきます」と語る。



(左上)11月20日・21日にスタジアムプレイス青山で開催予定のテキスタイル・ファッション・コンシェルジュの展示イメージ。歴史や産地の概略がわかるインデックスゾーンと、ニーズ該当企業の情報が参照できるコンシェルジュゾーンに分かれます。

(右上・下)大阪・泉州地域の織維産業は、小ロットでの生産やカンミアやアンゴラといった高級毛織に強みを持っている。

list

構成団体リスト(12地域経済団体)

堺商工会議所	岸和田商工会議所	熊取町商工会
高石商工会議所	貝塚商工会議所	泉南市商工会
泉大津商工会議所	泉佐野商工会議所	阪南市商工会
和泉商工会議所	忠岡町商工会	岬町商工会

information

[事務局] 泉大津商工会議所

泉大津市田中町10-7
TEL_0725-23-1111(商工会議所代表)
<http://izumiotsu-cci.or.jp/>